

学校規模適正化に係る説明会
 (千里第三小学校保護者)
 未回答の質問に対する回答

Q1〔P2〕 今後、地域の役員に話をし、進めていくとのことですが、地域の役員はどのように選ぶのですか。

A1 PTA や連合自治会の役員の方とお話をしながら、丁寧に進めていきたいと考えております。

Q2〔P5〕 具体的な数値（町丁別の世帯数、児童数）を提示してほしい。

A2 各案の変更対象地域の世帯数及び児童数（令和3年度12月1日現在）

各案の変更対象地域	世帯数（世帯）	児童数（人）
A案：竹園1丁目 (千里新田小学校区の25～28番を除く)	1,084	162
B案：江坂町5丁目	1,279	163
C案：円山町	891	156

Q3〔P6〕 何年度に児童数が何人で何人増えるといった数値的な根拠

A3 各案について、令和6年度より小学1年生から段階的に実施した場合の児童数・学級数の推移は以下のとおりです。

A案 千里山竹園1丁目を千里新田小学校に変更

該当小学校	項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
千里第三小学校	通常学級数（学級）	30	29	31	31	31	30	29
	全校児童数（人）	1,044	1,078	1,078	1,055	1,023	985	930
千里新田小学校	通常学級数（学級）	25	25	26	27	29	30	30
	全校児童数（人）	834	830	856	892	928	951	957

B案 江坂町5丁目を江坂大池小学校に変更

該当小学校	項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
千里第三小学校	通常学級数（学級）	30	29	31	31	31	31	30
	全校児童数（人）	1,044	1,078	1,078	1,066	1,034	1,008	966
江坂大池小学校	通常学級数（学級）	14	14	15	16	16	15	16
	全校児童数（人）	446	444	445	449	461	456	460

C案 円山町を山手小学校に変更

該当小学校	項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
千里第三小学校	通常学級数（学級）	30	29	31	30	30	29	28
	全校児童数（人）	1,044	1,078	1,078	1,047	1,007	959	895
山手小学校	通常学級数（学級）	16	16	17	19	20	21	22
	全校児童数（人）	532	551	566	607	631	647	670

Q4〔P10、P11〕千里第三小学校区、江坂大池小学校区、山手小学校区での児童が交通事故にあった件数を教えてください。

A4 千里第三小学校区、江坂大池小学校区、山手小学校区で、各小学校が把握する昨年度（令和3年度）の児童の交通事故件数は0件です。

Q5〔P32〕教育委員会が提示する案について、小中学校への距離を○、△、×で分析していますが、よく分からないので、具体的な説明をしてください。

A5 通学距離の測定方法については、以下の方法で行っております。

- 1 案の対象地域の中心部分（地域の一部が対象であればその対象部分の中心）を目視で基準点として設定する。
- 2 基準点から現在の学校及び変更案の学校の距離を地図システム（googlemap）の徒歩を前提に測定し、数点出る経路のうち一番近い距離の経路を採用する。

	○	△	×
小学校	200m以内	500m以内	500m超
中学校	200m以内	700m以内	700m超

Q6〔P32、P33〕住宅開発の抑制について、西宮市等、他の自治体の研究をしてください。

A6 国政調査において、人口増加数が上位20の自治体（特別区、政令市を除く）に住宅開発を抑制する要綱があるかの照会を実施しました。その結果、10自治体の内、要綱があるのは1自治体でした。

今後、教育環境保全のための住宅開発抑制につきまして、メリットやデメリット

も勘案しながら、研究してまいります。

Q7〔P33〕日本一のマンモス校で有名な木津川小学校がどういう工夫をしているのかを連携して把握してください。

A7 京都府木津川市立城山台小学校 についてお伝えいたします。

- ・城山台地域の急な一戸建て開発による、ファミリー層の急増。
- ・令和4年度児童数1367人（通常学級43学級 特別支援学級9学級）
新1年生293人 教職員105人 今のところ、令和5～8年がピークの前定。
- ・2, 3年生の校舎を敷地内に建設。
- ・二つの校舎でそれぞれ独立した組織運営を基本。
（教頭と副校長。それぞれの校舎に養護教諭、事務職員を配置）
- ・第2体育館を敷地内に建設（学童でも使用）。ステージはない。
- ・中庭にゴムウレタンチップ舗装をし、休憩時間の遊び場等として整備。
- ・4～6年生の体育を城址公園グラウンドで実施。マイクロバスを2台配備。
（学校から1.4キロ。バスで4分）
- ・2, 3年生の水泳指導は市内のスイミングスクールに委託。専門コーチから指導を受ける。移動バスもスクールが協力。
- ・地域通学路安全対策会議（小、2中、スクールガードリーダー、市教委）を開催し、通学路等について協議している。
- ・令和5年度（現小5）より、進学先中学校（今までの木津中→木津南中）が変更になる地域あり。（木津中の教室不足と自転車通学生徒の増加による。）
市のHPにて説明文あり。
ただし、下の子どもの入学時に、上の子どもが中学校に在籍の場合、どちらの中学校に行くかを選択できる。
- ・城山台小学校を「学区外就学特定地域」とし、他校への就学を承認する。
対象はすべての未就学児及び転入児童。
- ・市として「木津川市立小学校及び中学校の在り方検討委員会」を設置し、定期的に会を開催している。（学識経験者、学校関係者、保護者代表、地域関係者、公募により選出された市民、その他教育委員会が必要と定めるもの）